

「平成 26年 1～3 月期中小企業景気動向調査」調査結果報告
－マイナス解消間近ながら増税後の景況感は大幅に悪化－

静岡県西部地域しんきん経済研究所は、県西部地域の中小企業を対象に行った「中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたのでご報告します。詳細は別添「景況レポート」をご参照ください。

1. 調査概要（調査／静岡県西部地域しんきん経済研究所、協力／浜松商工会議所）

調査時期 平成 26年 3月 3日～7日
調査対象 静岡県西部地域の中小企業 636社
回収状況 回収数 616社（回収率 96.9%）
調査方法 調査表による面接聴取法（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

2. 調査結果

①平成 26年 1～3 月期の業況について

県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで－0.5 となった。マイナス解消には至らなかったが、今回数値は平成 18年 12 月調査以来の高い水準となった。平成 25年 12 月の前回調査（－9.7）との比較では 9.2 ポイント改善し、4 四半期連続の業況改善となった。

②平成 26年 4～6 月期の見通しについて

マイナス解消間近ながらも 4～6 月期は大きく悪化、次期業況 DI は 26.2 ポイント悪化の－26.7 となる。実際に悪化した場合、20 ポイント超の悪化幅はリーマンショック後の悪化幅 27.4 ポイント（平成 20年 9 月と 12 月調査との比較）に相当する悪化水準となる。消費税増税後の影響を不安視する声が多く、現状よりも 3 ヶ月後を悲観的にみるのは 5 四半期ぶりとなる。

③主な業種別の動向

業種	調査数	業況DI			動向
		前期	当期	来期見込み	
二輪車部品製造	56	-27.3	-8.9	-33.9	業況DIは18.4ポイントの改善。業況DIはリーマンショック前の水準へ。
自動車部品製造	70	-7.1	-7.1	-38.6	業況DIは3四半期連続の横ばい、受注残DIは改善ながら収益DIは悪化。次期業況DIは大きく悪化見通し。
機械部品製造	65	-1.5	3.1	-15.4	業況DIは4.6ポイントの改善。4四半期連続改善し、平成24年6月以来のプラス水準へ。
楽器部品製造	18	-5.6	-11.1	-38.9	業況DIは5.5ポイントの悪化。次期も悪化見通し。
繊維製造	25	-8.3	0.0	-24.0	業況DIは8.3ポイント改善し、マイナスを解消。過去最高の水準へ。
卸売業	87	-14.0	-9.3	-27.9	業況DIは4.7ポイントの改善。5四半期連続改善。
小売業	69	-29.9	-5.8	-36.2	業況DIは24.1ポイントの改善。売上額DI改善、駆け込み需要についてのコメント多い。
建設業	72	12.7	25.0	-22.5	業況DIは12.3ポイント改善し、2四半期連続のプラス。過去最高の水準ながら次期見通しは大幅に悪化。
不動産業	39	8.6	17.9	-23.1	業況DIは9.3ポイント改善し、4四半期連続のプラス。過去最高の水準ながら次期見通しは大幅に悪化。
飲食・宿泊・レジャー等	14	-38.5	-50.0	-28.6	業況DIは11.5ポイント悪化ながら次期見通しは21.4ポイントの改善予測。花博に期待のコメントみられる。

本件のお問い合わせ先

〒432-8036 / 浜松市中区東伊場 2-7-1 浜松商工会議所会館 9 階
静岡県西部地域しんきん経済研究所 / 神谷 / TEL053-452-1510